

科目名		環境と健康(統計学を含む) 参考				担当者名	望月 誠	
		[健康管理士必修]						
ナンバリング		26S11D10	授業の種類	講義	単位数	2	開講時期	2年・後期
授業内容		地球環境の保全は人類の生存に関わる重要な課題であることを理解し、地球環境を保全しつつ快適な生活環境と健康の向上を実現するために私たちの生活様式をいかに転換させるかを授業の目標とする。授業は、大気・水・土壌・騒音と振動・廃棄物に関する環境問題を健康との関わりの中で議論する。また、労働が健康に及ぼす影響について考えるとともに、環境や公衆衛生の分野において必要な統計学の知識や技法を習得する。						
到達目標		1. 人間と生活環境、地域環境、地球環境の関係についての知識を得る。 2. 大気、水質、土壌の汚染、騒音・振動、悪臭の人への影響についての知識を得る。 3. 地球温暖化などの地球環境問題や環境汚染を防ぐ方法についての知識を得る。 4. 室内環境、廃棄物処理の現状及び適正化についての知識を得る。 5. メンタルヘルスについての知識を得る。 6. 労働の健康への影響及び労働環境を改善する方法についての知識を得る。 7. 食品栄養分析データ等をExcelの機能を使って統計解析する方法を習得する。						
授業計画	回	タイトル			内 容			
	1	私たちを取り巻く環境			環境、環境問題、環境問題への取り組み			
	2	私たちが住む地球			体内時計、地震・火山、水、大気、生態系			
	3	気象と健康			温熱条件、気象病、季節病			
	4	地球温暖化			温室効果、地球温暖化とその影響・対策			
	5	地球環境問題			オゾン層破壊、酸性雨、森林減少			
	6	地域環境問題			大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、その他の公害			
	7	室内における環境問題			室内汚染、シックハウス症候群			
	8	都市の環境問題			ヒートアイランド現象			
	9	放射性物質による環境問題			原子力、放射線			
	10	精神保健			職場のメンタルヘルス			
	11	産業保健			労働と健康、産業疲労、職業病、労働災害			
	12	環境			自分自身の環境について考える			
	13	基礎の統計学①			分散、標準偏差、信頼区間			
	14	基礎の統計学②			カイ2乗検定、t検定、分散分析			
	15	まとめ			全体を振り返り重要なポイントを確認する			
成績評価方法と基準		評価方法			評価基準		割合	
		筆記試験			問題の正答率		60%	
		課題・提出物			問題の趣旨を理解し、適切にまとめられ提出できたか		20%	
		授業参加態度			授業への参加意欲・取り組み姿勢を評価する		20%	
教科書		「健康管理士一般指導員・健康管理能力検定1級テキスト5 生活環境と健康」(日本成人病予防協会)						
参考図書		授業ごとテーマに沿った参考図書を適宜案内する						
準備学習		必要に応じて事前学習や資料収集を指示する						
課題等に対するフィードバック方法		あらかじめ教科書に目を通し、予習をしておくこと						
準備学習(予習・復習等)に必要な時間		1～2時間						
その他 留意事項								
実務経験と資格等		Summit Academy 長聖小学校および長聖中等教育学校 教頭、教育学修士、小学校教諭専修免許状、中学校教諭専修免許状(社会)、高等学校教諭専修免許状(地歴公民)、自治体・高等教育機関との社会活動(嘱託)多数、歴史学・社会科学分野の所属学会等多数、地域社会に関する学会発表・論文・共著等多数。						